

進み始めた

コミュニティスクール 地域で支え、共に歩む学校

昔に比べて地域の教育力がなくなってきたと言われますが、学校と保護者、地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、地域とともに学校づくりを進める「コミュニティスクール」という仕組みが埼玉県でも進み始めています。

コミュニティスクールは法的には、教育委員会から任命された地域住民や保護者、校長で構成する「学校運営協議会」が設けられた学校のことを指します。学校運営協議会は①校長の作成する学校の基本方針を承認②学校運営について教育委員会または校長に意見③教職員の任用について、教育委員会に意見———することができます。

今までの学校がクレームや要望も含めて学校運営のすべてを校長一人で背負っていたのに対し、地域や保護者が一緒になって、子供たちの抱える悩みや問題を解決し、質の高い教育の実現



を図ろうとするものです。

当初、学校関係者からは学校運営が混乱するとか、人事まで口出しされるのはどうかとの意見がありました。しかし、私は実際に導入した複数の学校から話を伺いましたが、そのような心配は無用で、逆にプラスの効果は絶大とのことでした。

従来、県教委はコミュニティスクールに及び腰でしたが、昨年2月定例会

大丈夫ですか？ ペットの災害対策

いざ災害が起きた時、あなたのペット対策は大丈夫ですか？

国は災害時の備蓄品として以下のよう

な準備を呼びかけています。
【命や健康にかかわるもの】飲料水、フード、薬、予備の首輪、リード、食器、ガムテープ

【飼い主や動物の情報】飼い主の連絡先、ペットの写真、狂犬病予防注射や各種ワクチンの接種状況、かかりつけ動物病院

【ペット用品】ペットシート、猫の砂、排せつ物の処理用具、タオル、ブラシ、

の代表質問で私がガッチリ訴えたところ、県は方針を転換。県教委の重要政策にも位置づけられました。こうした背景を受け、各地の市町議会でも公明議員が積極的に推進し、29年度はおそ

らく県内で100校近くが導入する見込みです。28年度はわずか9校でしたので、大きな前進です。

コミュニティスクールは、問題解決や学力向上にも貢献し、教育の在り方を大きく変える可能性を秘めています。今後もしっかり推進してまいります。

使い慣れたおもちゃ

できればマイクロチップを付け、首輪には迷子札を。また、ケージに入る練習や無駄吠えしないことも大切です。

一方で、ペット受け入れ可能な避難所の整備は遅れています。県は29年中に研修会開催やガイドブックを作成して市町村を支援しますが、これも大きな課題です。



編集後記

ミミが問題?!

○：災害時のペット対策を紹介しましたが、この課題は難しい。我が家の場合、ニャン吉はまず大丈夫。大人しくケージに入れるし、誰にでも愛想抜群なので避難所でも可愛がってもらえそう。

○：問題なのはミミ。「人見知り」な上、抱っこが苦手でケージもダメ。以前、脱走した時も捕まえられず大変でした。結局ニャン吉が連れ帰ってくれましたが。

○：昨年の熊本地震でも大量のペットの迷子が発生しています。いざという時に備え、まずは、各家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。



皆様の声を!

まってるにゃ!!

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県議会公明党議員団

TEL 048-822-9606

FAX 048-822-9408

公明党議員団ホームページ

<http://www.komei-saitama.com>

さいたま市浦和区高砂3-15-1